

目標達成計画

作成日: 平成 29 年 3 月 21 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画作成において、「解決すべき課題」の改善点からだけでなく、利用者の生活歴や趣味、特技などのプラス面からアプローチした介護計画も望まれる。	介護計画作成において、ニーズの設定をポジティブ表現で作成しプラス面を前面に出した介護計画にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス計画書第2表の「生活全般の解決すべき課題(ニーズ)」欄に、「ご本人がのぞむ暮らし」を追加する。 ・課題分析においては、ケアマネジメントの基本を踏まえつつ、課題の設定については困りごとが前面に出ないようプラス面を中心に計画作成するようにする。 ・援助目標や援助内容についても、全体としてポジティブなサービス計画となるように検討しながら作成する。 	6ヶ月
2	40	利用者にとってテーブルの高さが少し高いように思われる。また、テーブルと身体の間隔が離れている方がおられる。利用者が、より安全に楽しく食事を摂る事ができる自然な前傾姿勢を維持するために、本人に合ったテーブルや椅子の高さを調節する工夫が望まれる。	ご本人に合ったテーブルの高さで食事をとってもらえるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・テーブルの入れ替え時期に合わせて、高さ調節できるテーブルに変更したり、低い方用の小さなテーブルを導入したりしてハード面での改善を行う。 ・座布団やクッションを使用し、座面高や背もたれの位置を調整する。 ・福祉用具相談員の協力を得ながらどうすれば適切な姿勢となるのか検討する。 	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。